

みどりの学術賞 受賞記念講演会のお知らせ

平成29年7月2日（日）13：30～16：00

日本科学未来館 7階（入場無料）

東京都江東区青海 2-3-6 （裏面の案内図をご覧ください）

主催：内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）
日本科学未来館

プログラム

13：00 開場

13：30 開会（主催者挨拶、みどりの学術賞の概要説明）

13：50 受賞者講演（進行：みどりの科学コミュニケーター）

「都市における緑・水の気象緩和作用」（丸田頼一 博士）

「光合成水分解反応の仕組み

—植物に学ぶ 光エネルギーの高効率利用—」（沈 建仁 博士）

16：00 閉会

「みどりの学術賞」は、「みどりの日」についての国民の関心と理解を一層促進し、「みどりの日」についての国民の造詣を深めることを目的に、平成18年の閣議決定で創設され、今年で11年目を迎えました。

植物、森林、緑地、造園、自然保護など、「みどりの日」に関わる幅広い学術分野にご関心をお持ちの研究者、学生、一般市民の皆様のご参加をお待ちしています。

【申込み】 席に限りがありますので、以下のいずれかの方法でお申し込み下さい。

(1) 日本科学未来館ウェブサイトから（6月26日まで）

<http://www.miraikan.jst.go.jp/event/>

(2) FAX <送信先：03（3502）2887>（6月26日まで）

記載事項 ① 代表者氏名、所属団体名、電話及びFAX番号

② 代表者以外の参加者の氏名、所属

また、「みどりの講演会申込み」と記載してください。

第11回みどりの学術賞受賞者 功績概要

丸田 頼一（まるた よりかず） 千葉大学名誉教授



都市の緑地が持つ微気象の緩和などの多面的な機能と緑地計画に関する研究を進め、都市の公園緑地から冷涼な空気が市街地に浸透する「にじみだし現象」の存在や、市街地周辺部から都市部に向かって風が発生することを実証的に明らかにするなどの先駆的な成果を挙げた。また、ドイツで開発された「風の道」の手法を参考に、ヒートアイランド現象の緩和のため緑地を効果的に配置する日本型の「風の道」を提唱した。これらの成果は、政府の「ヒートアイランド対策大綱」に反映されたほか、多くの都市の「緑の基本計画」に盛り込まれるなど、都市における熱環境の緩和と低炭素型まちづくりに資する緑地政策の展開に大きく貢献した。

沈 建仁（しん けんじん） 岡山大学異分野基礎科学研究所教授



植物の葉緑体の中で光合成を通じて酸素が発生する際に触媒の役割を果たす「光化学系Ⅱ」というタンパク質複合体について、和歌山の温泉で採取された原始的な光合成生物シアノバクテリアから高解像度で解析可能な結晶をつくり出し、それまで明らかになっていなかった原子レベルでの構造を明らかにした。この成果は、2011年のScience誌による「10大ブレイクスルー」の1つに選出されるなど国際的にも評価されるとともに、「光化学系Ⅱ」を模倣した触媒の開発に道を拓くなど、基礎科学としての光合成研究にとどまらず、太陽光エネルギーの人工利用（人工光合成）の実現に向けた研究の進展にも大きく貢献した。

みどりの科学コミュニケーターをよろしくお願ひします

内閣府（みどりの学術賞及び式典担当室）では、昨年度に引き続き、日本科学未来館の科学コミュニケーターを「みどりの科学コミュニケーター」に任命しました。今回の講演会をはじめ各種イベントやウェブサイトなどで「みどり」に関する情報発信の活動を行っています。



平成29年度みどりの科学コミュニケーター
（左から、沈さん、本田さん、武田さん）



【会場アクセス】

- 新交通ゆりかもめ
「船の科学館駅」下車 徒歩約5分
「テレコムセンター駅」下車 徒歩約4分
- 東京臨海高速鉄道りんかい線
「東京テレポート駅」下車 徒歩約15分
- その他（無料巡回バス「東京ベイシャトル」、路線バス、自家用車＜有料駐車場あり＞）
→ 日本科学未来館ホームページをご覧ください。
<http://www.miraikan.jst.go.jp/guide/route/>

お問い合わせ

内閣府 みどりの学術賞及び式典担当室 【兼 林野庁山村振興・緑化推進室】

電話：03（3502）8243 FAX：03（3502）2887（担当：木下、佐藤、上原）

みどりの学術賞ホームページ <http://www.cao.go.jp/midorisho/>